

～ 今月の図書案内 ～

夏休みも終わり新学期が始りましたが、充実した休みを過ごされましたか。残暑が辛い日には、図書館で休憩がてら読書をしてみてはいかがでしょうか。長期休暇中に、新しい本がたくさん入荷されました。ぜひ、お立ち寄りください。

★今月の新着おすすめ本

「金魚いろ×かたち謎解き図鑑」 大森 義裕

縁日の金魚すくいを見て、なぜ出目金など変わった種類がいるのか不思議に思ったことはないでしょうか？ そんな疑問を解決してくれるのがこの本です。本書では金魚の体形や体色、遺伝などを写真付きで解説し、金魚の歴史も教えてくれます。また品種紹介の項目は美しさに目を奪われることもあり、眺めるだけでも楽しめます。

「私だけ年を取っているみたいだ。」

「ヤングケアラーの再生日記」 水谷 緑

親の病気や障害で家族の世話と家事を担う子どもたちを「ヤングケアラー」といい、その半生の実録コミック。子どもらしさを押し殺して、生きるのに精一杯だった子ども時代も大変だが、さらに、成人して仕事、結婚、子育てを通じて、悩みながらも失われていた感情を取り戻すまでが、いかに大変か、彼らの生きづらさを垣間見ることができる。

「3分で読める！ティータイムに読むおやつ物語」

「このミステリーがすごい！」編集部 編

「おやつ」を題材に25人の作家が書いた短編を収録。甘いものが苦手な父があんこを大量に作っていた理由は何だったのか（柏 てん「父と土曜日のあんこ」）。認知症の祖母の思い出のスコーンはどうような作り方だったのか（梶永 正史「記憶のスコーン」）。心温まる話や切ない話など、それぞれ違った味わいがあります。

9月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

開館時間 8:35～16:45（色つきの日は閉館日 予定は変更することもあります）

★図書館からのおすすめ本

「27000冊ガーデン」 大崎 梢

県立高校図書館に勤める学校司書の駒子は、たまたま居合わせた出入りの書店員・針谷と共に、生徒が巻き込まれた事件の解決に一役買う。ディスプレイ荒らしや小口ずらし事件など、図書館や本にまつわる謎が次々と持ち込まれるが…。学校図書館で繰り広げられるささやかな日常と、謎解きに思わずほっこりする心温まるミステリー。

「裁判官の爆笑お言葉集」 長嶺 超輝

裁判官が法廷で話した印象的な言葉の数々を集めています。有名歌手の歌を例に出し反省を促したり、自分がいじめられていた過去を告白したり、時にはユーモアの溢れる発言で諭したり…裁判官の人間味が感じられ、考えさせられます。本書は2007年に発売されましたが、最近また売り上げが伸びている注目作なので、ぜひ手に取ってみてください。

「カレーの時間」 寺地 はるな

家庭を省みず、遮二無二に不器用にしか生きられなかった頑固な祖父と暮らすことになった孫・桐矢。全てに達観し、冷静な桐矢と祖父には大きなギャップがあっても、カレーを囲む時だけは打ち解けていく…?! 半世紀の間、抱えてきた祖父の秘密とは？ 終戦後と現在、ふたつの時代をカレーが繋ぎ、カレーを通じてお互いを理解していく家族の物語。